

とうふねこ座：市川雅子 画

まちがいさがし クイズ

問題

上下の絵を見くらべて、
まちがいを8カ所見つけてください。

応募方法

ハガキまたはファクスに、答え(右の絵に○をつける)と住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を書いて応募してください。なお、当選者のお名前を広報がまごおり5月号に掲載しますので、ご了承ください。

送り先

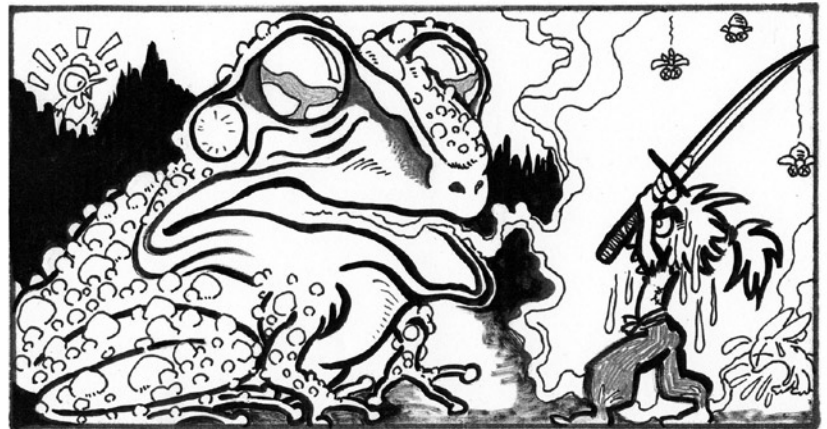
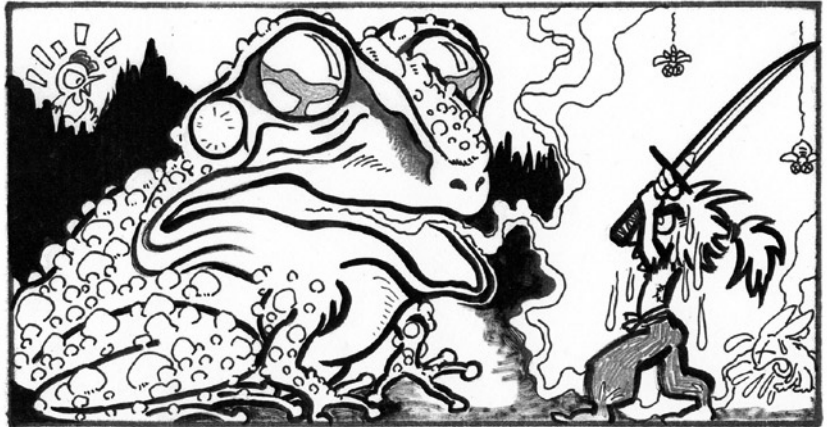
〒443-8601 旭町17番1号
企画広報課「クイズ」係
FAX66♦1190

応募締切

3月18日(木)当日消印有効

プレゼント

全問正解された方のうち、抽選で10人の方にクオカードもしくはユトリーナバーデゾーン無料利用券をプレゼントします。なお、賞品は5月初旬ごろ郵送します。



「じらいやと赤がえる」(豊岡町)

まだ忍術使いが活躍していたころの話。

「うんうんうん」と呪文を唱え、白い煙の中から大きなまがえるに乗って現れる『じらいや』は、人々から神様とも仏様ともあがめられていた。

砥神山は化け物が住んでいると言われ、近づく者はいなかった。ところが、いつのころからかこの山で一人の若者が毎日心身を鍛えるため修行を始めた。

ある晩のこと「グエー、グエー、グエー」と不気味な声があった。見ると身の丈は一丈(三、〇メートル)もある大がえるが修行をしていた若者に襲いかかってきた。これこそ砥神山の主といわれる化け物の赤がえるだった。

赤がえるは、じりじり近寄り、若者は振り上げた手を下ろすこともできず、じっとにらみ返した。すると前にもまして大きく「グアアアアア」とつなり、赤がえるの目は恐ろしい光でキラキラと輝き、体からはなんとも怪しい毒気があふれてきた。若者と赤がえるのにらみ合いは一晚中続いた。やがて、東の空がうっすらと明るくなってきた。この「ケ、コッコー」とこの山の守り神と言われている金色のちゃぼの鳴き声がすると、不思議なことに赤がえるはへたりこんだ。これで修行も終わったと思った若者は、赤がえるを従えて山を降りた。

人々は、「赤がえるを従えた若者はじらいやに違いない。赤がえるがきつとじらいやをお守りしているのだ。」と言い合ったりした。

今でも赤がえるは砥神山に住んでいて、塗り薬や赤ん坊のかんのむしをおさえる薬として重宝されているそうだ。

◆1月号の答え

1月号クイズまちがいさがし
ろくそく岩の答え

応募総数81通

正解者78人

当選者敬称略・50音順

水竹町 小田忠彦
形原町 神谷裕早
八百富町 川村美穂
三谷町 熊崎いずみ
栄町 鈴木清治
西浦町 西田磨耶
大塚町 濱口友佑
府相町 深谷啓子
形原町 三浦綾乃
形原町 村松好子
おめでとうございます。賞品は3月初旬に発送します。

